リリース ノート

日本語

Prinergy Evo

バージョン 1.2.6.4

ドキュメント番号 739-00135B-JA

www.creo.com

著作権

Copyright © 2005 Creo Inc. All rights reserved.Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本ドキュメントで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Illustrator、Distiller、Photoshop、PostScript、および PageMaker は、Adobe Systems, Inc. の商標です。Apple、iMac、Power Macintosh、AppleShare、AppleTalk、TrueType、および ImageWriter は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。Macintosh は Apple Computer, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。PANTONE、Hexachrome、PANTONE Hexachrome、および PANTONE MATCHING SYSTEM は Pantone, Inc. に属します。PEARL、PEARLsetter、PEARLhdp、PEARLdry、および PEARLgold は Presstek, Inc. の登録商標です。Xerox、DocuColor、および MajestiK Color Series は Xerox Corporation の商標で、米国およびその他の国で登録されています。その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

Creo Inc. の書面による明示的な許可なくして、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本ドキュメントの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。Creo Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。本ドキュメントは、Adobe Systems Incorporated の PDF（Portable Document Format）形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本ドキュメントを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、ドキュメント全体を複製する必要があります。

Creo, Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話： +1.604.451.2700
FAX： +1.604.437.9891
http://www.creo.com

ドキュメント番号 739-00135B-JA
２００５ 年 １０ 月改訂

目次

Prinergy Evo 1.2.6.4 リリース ノート 1

はじめに ... 1
このリリース ノートについて ... 1
バージョン 1.2.6.4 の新規事項 ... 2
面付けワークフローのサポートの改善 ... 2
中綴じ小冊子 ... 2
新しいテンプレート ブラウザ ... 2
新しい出力形式 ... 3
スポット カラーのデフォルト角度の処理の改善 ... 3
Preps 5.1 用のサーバー ベースのライセンス マネージャ ... 3
コピードット処理 ... 4
フレキソ印刷のサポートの向上：Advanced HyperFlex（ライセンス機能） ... 4
サムネイル生成 ... 5
サードパーティ製の低解像度 CJK フォントのサポート ... 5
サードパーティ製の面付けソフトウェア ... 5
Prinergy Evo クライアントの新しい環境設定 ... 5
トラップのトリミング（Advanced Trapping のライセンス機能） ... 5
オーバープリント オブジェクトのカラー マッチング（Advanced Color Management のライセンス機能） ... 6
CEPS データのカラー マネジメント ... 6
CEPS 出力プロセス テンプレートの新しいレンダリング オプション ... 6
Virtual Proofing System 2.1 ... 7
バージョン 1.2.6.4 で拡張された機能 ... 7
新しいファイル命名変数 %paddedcolornum<n>% ... 7
Prinergy Evo のローカライズ機能 ... 7
バージョン 1.2.6.3 で拡張された機能 ... 7
Acrobat 7 のサポート ... 7
Acrobat 用 Compare および Merge プラグイン ... 7
Normalizer でのフラットナーの更新 ... 7
Virtual Proofing System 用 CCITT G4 圧縮オプション ... 8
起動時のクライアント同期の高速化 ... 8
バージョン 1.2.6.2 で拡張された機能 ... 8
Magnus 800 のキュー長のサポート ... 8
より多くのファイルに対するコピードット パフォーマンス拡張の適用 ... 8
バージョン 1.2.6.1 で拡張された機能 ... 8
既知の制限事項 ... 9
Enfocus PitStop のプロファイルを PDF プリフライトにインポートできない ... 9
簡体中国語版でヘルプ インデックスが正しく並べ替えられない ... 9
オンライン ヘルプの最新版は現在英語のみ ... 9
Windows クライアントからの出力ではマルチバイトのファイル名はサポートされない ... 9
Prinergy Evo の Adobe ソフトウェア コンポーネント ... 10

Prinergy Evo 1.2.6.4 リリース ノート

はじめに

このたびは、Prinergy® Evo ソフトウェアの最新バージョンをお買い上げいただき、ありがとうございます。このリリース ノートでは、Prinergy Evo バージョン 1.2.6.4 のリリースにあたり、ソフトウェアの変更点および改良点について説明します。適宜、詳細については Prinergy Evo のマニュアルを参照してください。

Prinergy Evo 1.0 または 1.1 からアップグレードした場合、Prinergy Evo 1.0 のライセンス キーをバージョン 1.2.6.4 のライセンス キーに変更する必要があります。



注意：日本語版のライセンスを取得する方法は異なります。詳細については、Creo サポート センターまでお問い合わせください。

Prinergy Evo 1.0 および 1.1 では新しいライセンス キーを使用します。最後に発行された固定ライセンス キーが Prinergy Evo 1.0 または 1.1 のものである場合、eCentral™ から新しいライセンス キーを取得できます。Prinergy Evo Administrator の［**ライセンス**］タブに新しく追加された［**キーを取得**］ボタンをクリックすると、キーにアクセスできます。

この方法でキーを取得できない場合や Prinergy Evo Administrator を使用してアップデートにアクセスできない場合でも、Prinergy Evo 1.2.6.4 インストーラがお手元にあれば、以下の方法で新しいライセンス キーを注文できます。

新しいライセンス キーを注文するには：

1. Prinergy Evo サーバーで Prinergy Evo Administrator を起動します。
2. ［**ライセンス**］タブの［**キーの表示**］をクリックします。
3. ［Prinergy Evo License Manager］ダイアログ ボックスで、［**ドングル ID**］をクリックします。
4. ［ドングルのセキュリティ コード］ダイアログ ボックスに表示されたドングルの ID 番号をメモします。

Creo サポート センターに連絡してドングルの ID 番号を伝え、新しい Prinergy Evo 1.2.6.4 の新しい基本ライセンス キーの発行を依頼します。

このリリース ノートについて

このリリース ノートには以下のセクションが含まれています。

- 新規事項
- 拡張された機能 — 既存の機能の改善点について説明します。
- 「既知の制限事項」
- Prinergy Evo での Adobe ソフトウェア コンポーネント — Adobe® ソフトウェア コンポーネントのバージョンを示します。

バージョン 1.2.6.4 の新規事項

面付けワークフローのサポートの改善

Prinergy Evo 1.2.6.4 では、Creo の Preps® エンジンとの統合およびサポート対象の面付けソフトウェアの増加により、面付けワークフローが改善されています。

面付けの作成（ライセンス機能）

Prinergy Evo 1.2.6.4 では、新しい面付けの作成プロセスが導入され、格納済み JDF 面付けの作成が簡略化および自動化されました。Prinergy Evo 1.2.6.4 は Preps 面付けエンジンと統合されているため、プロセス テンプレートで Preps テンプレート、面付け型式、およびデバイスを指定できます。Prinergy Evo でこれらの設定を行った後、Preps を使用してテンプレートを編集できます。

各 Preps テンプレートには折丁を 1 つのみ含めることをお勧めします。Prinergy Evo で Preps テンプレートを使用するには、Preps でテンプレートを選択する際に［**自動選択**］チェック ボックスをオンにします。

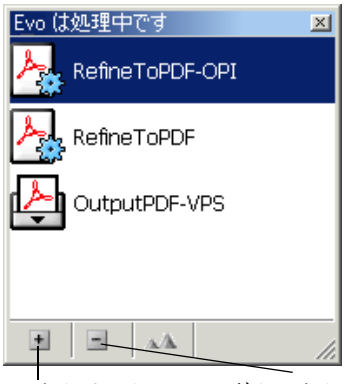
中綴じ小冊子

中綴じ小冊子は、見本を作成することで仕上げ後の出版物をシミュレートするために使用できる面付けの出力オプションです。中綴じ小冊子を使用すると、面付け、ページ位置、ページ割り当て、面付けマークと背標マーク、ページ回転、シングリング、およびドブを確認できます。中綴じ小冊子により、プレートの作成前に面付けレイアウトのエラーまたは画像の問題を検出できるため、時間と費用を節約できます。

新しいテンプレート ブラウザ

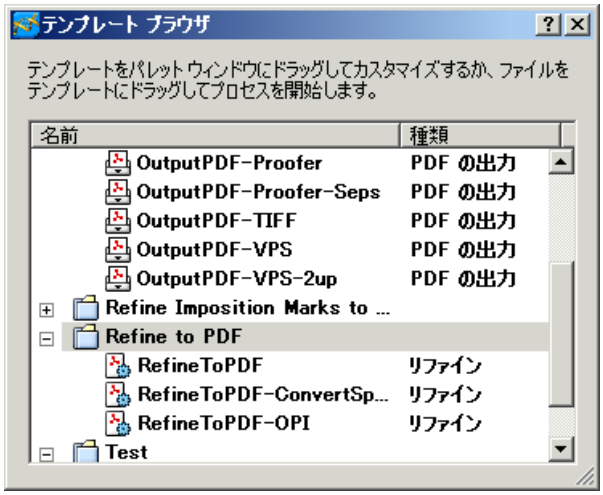
テンプレート パレットの下に［+］ボタンと［-］ボタンが追加され、プロセス テンプレートを簡単にテンプレートに追加できるようになりました。［+］ボタンをクリックすると、Prinergy Evo の以前のバージョンの［パレットのカスタマイズ］ダイアログ ボックスに代わって、テンプレート ブラウザが起動します。

テンプレート ブラウザを使用して、テンプレート パレットまたはテンプレート ブラウザのプロセス テンプレートのアイコンに作業フォルダのファイルをドラッグし、テンプレート パレットにテンプレートを追加するか、プロセスを開始します。新しいテンプレート ブラウザを使用すると、ボタンをクリックするだけですべてのテンプレートに簡単にアクセスできます。



このボタンをクリックすると、テンプレート ブラウザが起動します。

このボタンをクリックすると、ハイライト表示されたプロセス テンプレートをテンプレート パレットから削除できます。



新しい出力形式

Prinergy Evo 1.2.6.4 では、新しい PDF の出力形式および面付けの出力形式を使用できます。

PDF Raster Output は、ページの連続諧調およびハーフトーン レンダリングの両方を出力できるコンポジット出力形式です。PDF 形式のため、どのような環境でも使用できます。Virtual Proofing System と比較すると速度は劣りますが、Adobe Acrobat を使用して、画面での低解像度プルーフ作業を行うことができます。この形式では、ファイル サイズを縮小するために、EPS ラスターよりも広範囲の圧縮形式をサポートしています。

面付けの出力形式として、EPS ラスターや DCS ファイル形式の代わりにベクター コンポジット形式の EPS ベクターが使用され、広範囲の接続オプションを提供しています。

スポット カラーのデフォルト角度の処理の改善

Prinergy Evo 1.2.6.4 では、カラー データベース エディタのプロセス テンプレートで特に定義されていないスポット カラーで使用するスクリーン角度の制御が容易になりました。新しいオプションの［各スクリーン角度を順に使用］を使用すると、シアンの角度から順にスポット カラーで角度が使用されます。これにより、スポット カラーがオーバープリントされなくなり、出力結果が改善されます。

Preps 5.1 用のサーバー ベースのライセンス マネージャ

Prinergy Evo 1.2.6.4 には、Preps 5.1 用のサーバー ベースのライセンス マネージャが含まれています。Preps 5.1 は Prinergy Evo サーバーをライセンス サーバーとして使用するため、ドングルを移動しなくても別のワークステーションで Preps を実行できるようになりました。Preps を同時に使用できるユーザー数は、購入したライセンス数に限定されます。この機能では、Prinergy Evo サーバーがトラッピング用ライセンスを管理するためのメカニズムと同じものが使用されています。

コピードット処理

基本的なコピードット処理

画像全体またはコピードット データをタイリングせずにレンダリングすると、著しく長い時間がかかる場合があります。基本的なコピードット処理を使用すると、コピードット データがリファイン中に最適化および再フォーマットされ、レンダリングのパフォーマンスが向上します。また、コピードット データに望ましくないトラッピングやオーバープリントなどの処理からコピードット画像を保護し、コピードット以外のデータはそのまま処理します。基本的なコピードット処理では、Acrobat View Accelerator プラグインで使用する代替画像を作成することもできます。基本的なコピードット処理は、Prinergy Evo の設定に含まれています。

リサンプルとデスクリーニング（ライセンス機能）

リサンプル オプションを使用してコピードット解像度を変更し、出力デバイスの解像度に合わせて、高解像度プルーフや出力でのモアレや画像への影響を解消します。リサンプルは、連続諧調の画像に変換せずにコピードット ファイルの解像度を変更するための、リファインまたは出力プロセスのオプションです。1 インチあたり 300 ～ 5080 ピクセルの解像度にリサンプルできます。

デスクリーニングは、連続諧調のプルーフ デバイスに出力する際に画質を向上させるための出力オプションです。デスクリーニングとリサンプルの両方が有効の場合、Prinergy Evo は自動的に最適な方法を選択します。

コピードット色調キャリブレーション（ライセンス機能）

コピードット色調キャリブレーションを使用すると、すべての CT オブジェクトに適用するものと同じ色調キャリブレーションを使用して、PDF ファイル内のすべてのコピードット画像のキャリブレーションを行います。

従来の色調キャリブレーションでは、RIP によってスクリーニングおよびラスター化される際に、キャリブレーション カーブが CT PostScript® ファイルに適用されます。ファイルがスクリーニングされると、画像ドット サイズを調節できなくなるため、色調キャリブレーションは適用できません。ビットマップ データは既にスクリーニングされているため、色調キャリブレーションを RIP でコピードット データに適用することはできません。ファイルが RIP に送信される前に、ドットを物理的に拡大してシャープにする必要があります。

フレキソ印刷のサポートの向上：Advanced HyperFlex（ライセンス機能）

Prinergy Evo 1.2.6.4 では、Advanced HyperFlex™ 機能が完全にサポートされるようになりました。HyperFlex は部分的に AM スクリーニングを使用します（チントの割合が低い場合は FM スクリーニングを使用）。Advanced HyperFlex は AM スクリーニングのみを使用し、ライト バルブを使用して細かいグラフィック エレメントとドットの周辺に追加のサポート用フォトポリマーを構築します。

HyperFlex ではより細い線スクリーンが使用され、以下の機能があります。

- MaxTone™ スクリーニングを使用する場合に、最小ドット サイズを指定する。
- 小さなドットおよびグラフィック エレメントの中および周辺のレリーフの深さを調整する。
- 小さなドットをサポートする縁の幅を調整する。

サムネイル生成

PDF へのリファイン処理中に、リファインされた PDF ファイルにサムネイルを埋め込んだり、外部 JPEG サムネイル ファイルを出力できるようになりました。この機能を使用すると、Pandora® や Preps の今後のバージョンなど、レイアウト アプリケーションでの作業が容易になります。

サードパーティ製の低解像度 CJK フォントのサポート

Prinergy Evo 1.2.6.4 では、サードパーティ製の低解像度の中国語、日本語、韓国語（CJK）フォントがインストールされます。これにより、1200 dpi 以下の解像度での出力の際に、フォントに充てる費用が低減されます。Prinergy Evo はリファイン処理中にフォントを埋め込みます。

サードパーティ製の面付けソフトウェア

Prinergy Evo 1.2.6.4 では、SignaStation 面付けソフトウェアから格納済み面付けジョブ チケットを送信できるようになりました。Creo では、この機能に関する詳細な情報を提供する技術報告を配布する予定です。

Prinergy Evo クライアントの新しい環境設定

Prinergy Evo 1.2.6.4 の環境設定に新しいオプションが追加され、Prinergy Evo クライアント ソフトウェアを起動するたびに、起動画面を表示しないように設定できるようになりました。

また、テンプレート パレット内のプロセス テンプレートのアイコンのサイズを 32 × 32 ピクセルから 16 × 16 ピクセルに変更できるオプションが、環境設定に新しく追加されました。

トラップのトリミング（Advanced Trapping のライセンス機能）

大きなトラップを使用している場合、トラップのトリミングを使用して、小さなオブジェクトを拡大するトラップのサイズと形状を自動的に調整し、最小化した手動のトラップを作成できます。これにより、ページの無色の領域にトラップが「漏れ出す」ことを防ぎます。トラッピング エンジンは、すべてのオブジェクトの中心を超えるトラップを自動的に再検証します。必要に応じて、トラップが許可されるオブジェクトの中心に向かってトラップをトリミングします。

トラップのトリミングは、Advanced Trapping オプションの一部です。自動トラッピングおよび Acrobat のトラップ エディタ プラグインの両方で使用できます。



トラップのトリミングを使用しない場合、この画像の赤のトラップは白い文字に近くなりすぎます。出力の際には、白い領域に色が広がる恐れがあります。

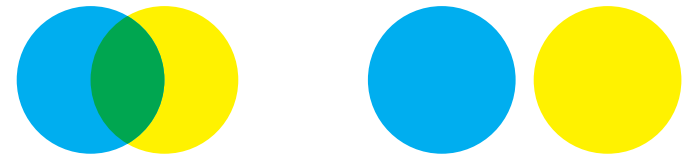


トラップのトリミングを使用すると、赤のトラップが白い文字に近づき過ぎず、ラベルのデザインが保護され、印刷品質が向上します。

オーバープリント オブジェクトのカラー マッチング（Advanced Color Management のライセンス機能）

Prinergy Evo 1.2.6.4 では、オーバープリントされるエレメントの交差位置を個別にカラー マッチングさせることができるようになりました。エレメントのオーバープリントが有効の場合、オーバープリントされるエレメントと交差する位置では、ペイントされるカラーが前にペイントされたエレメントによって影響を受けることがあります。前景にオーバープリントされるエレメントのカラー マッチングを正確に行うには、カラー マッチャーで背景と前景のエレメントのカラーと位置を考慮に入れる必要があります。Prinergy Evo 1.2.6.4 で交差領域の対象エレメントを分析すると、交差領域での表示状態を示す新しいエレメントが作成され、その新しいオブジェクトのカラー マッチングが個別に行われます。

2 つのエレメント（シアンとイエロー）がオーバープリントされる例 — オーバープリントの結果、グリーンが生成されています。この場合、エレメントは 2 つです。



オーバープリント効果のシミュレーションのため Prinergy Evo で新しいエレメントが作成される例。この場合、エレメントは 3 つです。



CEPS データのカラー マネジメント

Prinergy Evo 1.2.6.4 には、任意の CEPS データのカラー マネジメントが可能なオプションがあります。Prinergy Evo の以前のバージョンでは、CEPS データはマーキングされ、後工程では処理できませんでした。新機能は、［PDF にリファイン］プロセス テンプレートの［**スポット カラー処理**］セクションで使用できます。

CEPS 出力プロセス テンプレートの新しいレンダリング オプション

Prinergy Evo 1.2.6.4 には、スポット カラーと CEPS 解像度を処理するための新しいオプションがあります。CEPS 出力プロセス テンプレートで、［**レンダー**］セクションの［CEPS］設定領域から、新しいオプションを使用できます。

Virtual Proofing System 2.1

Virtual Proofing System には、以下の 3 つの新機能が導入されました。

ルーラー機能を使用すると、現在のズーム レベルに応じた定規がビューの上と左に表示されます。ポインタを移動すると、現在のポインタの位置が小さなインジケーターで定規の上に表示されます。

ドキュメントの上に可動式のラインが表示され、オブジェクトの位置が用紙の表か裏かに関わらず、オブジェクトの配置をチェックするためのガイドとして使用できます。

Virtual Proofing System 2.0 ではすべてのインキが透明なものとして処理されていたため、インキが重なると混じりあって表示されました。Virtual Proofing System 2.1 では、インキを不透明なものとして処理し、重なった場合に下のオブジェクトを隠して表示するようになり、面付けプレビュー ファイルの描画が改善されました。インキの透明／不透明は切り替えることが可能で、インキを不透明にするとトラップをチェックできます。

バージョン 1.2.6.4 で拡張された機能

新しいファイル命名変数 %paddedcolornum<n>%

ファイル命名変数 %colornum% ではゼロを使用できない、使用時にファイルを並べ替える際に不便で、PrintLink ファイルを特定のプロセス コンソールで使用することができませんでした。Prinergy Evo では、この目的のために新しいファイル命名変数 %paddedcolornum<n>% を使用することとなりました。（ファイルの別名も使用できなかったため、今回追加されました。）(PR: JCOX-J-0000214)

Prinergy Evo のローカライズ機能

Prinergy Evo 1.2.6.4 は、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、簡体中国語、スペイン語、およびロシア語にローカライズされています。

バージョン 1.2.6.3 で拡張された機能

Acrobat 7 のサポート

Prinergy Evo 1.2.6.3 には、Adobe Acrobat® 7 用プラグインのベータ版が含まれています。

Acrobat 用 Compare および Merge プラグイン

Prinergy Evo 1.2.6.3 には、Acrobat 用 Compare および Merge プラグインが含まれています。これはライセンスを必要とするプラグインであり、使用するには Acrobat 6 以降が必要です。

Normalizer でのフラットナーの更新

Prinergy Evo 1.2.6.3 の Normalizer には、PDF 1.4 以降を PDF 1.3 に変換するための Adobe ソフトウェア コンポーネントである、フラットナーの最新バージョンが含まれています。

Virtual Proofing System 用 CCITT G4 圧縮オプション

Prinergy Evo 1.2.6.3 には、Virtual Proofing System ファイルの生成用に CCITT G4 圧縮オプションが追加されました。以前のバージョンでは、LZW 圧縮のみがサポートされていました。

起動時のクライアント同期の高速化

Macintosh® プラットフォームでの Prinergy Evo 1.2.6.3 クライアントの起動時の同期が高速化され、Windows® クライアントの速度に近づきました。

バージョン 1.2.6.2 で拡張された機能

Magnus 800 のキュー長のサポート

Magnus™ 800 プレートセッターでは、1 時間により多くのプレートを作成するため、以前のプレートセッターより長いプレート キューが使用されています。Prinergy Evo 1.2.6.2 ではこの長さのキューをサポートし、プレートセッターの性能を維持しています。(PR: MWER-J-0000577)

より多くのファイルに対するコピードット パフォーマンス拡張の適用

Prinergy Evo で PDF ファイルにコピードット データが検出されると、ファイルがラスター化される際のパフォーマンスが一部拡張されます。ここで拡張されない場合、コピードット ファイルをラスター化するには、特に回転する際に著しく長い時間がかかります。Prinergy Evo 1.2.6.2 では、広範囲のコピードット形式にこの拡張機能が使用されます。(PR: JGAT-J-0000275)

注意：この拡張機能は、回転されないページ、および 90 度単位で回転されるページにのみ適用されます。

バージョン 1.2.6.1 で拡張された機能

Prinergy Evo バージョン 1.2.6.1 はリリースされていません。

既知の制限事項

Enfocus PitStop のプロファイルを PDF プリフライトにインポートできない

Enfocus PitStop のプロファイルを Prinergy Evo の PDF プリフライトにインポートすることはできません。

簡体中国語版でヘルプ インデックスが正しく並べ替えられない

簡体中国語版では、WebHelp で使用できるインデックスはテキストが正しく並べ替えられていません。

オンライン ヘルプの最新版は現在英語のみ

Prinergy Evo のローカライズ版（ドイツ語、フランス語、スペイン語、簡体中国語、日本語）を使用してオンライン ヘルプを選択すると、Prinergy Evo 1.1 の翻訳されたヘルプが表示されます。Prinergy Evo 1.2 の新機能については、以下の手順で英語版ヘルプを参照してください。

1. **\\<サーバー名>\PgyEvoInstll\doc\Client WebHelp - English** の場所を指定します。
2. **LaunchEnglishHelp.html** をダブルクリックします。
3. 表示されたウィンドウで、［**Launch English Help**］をクリックします。

Windows クライアントからの出力ではマルチバイトのファイル名はサポートされない

Windows のプリンタ ドライバの制限により、日本語や中国語で使用されるマルチバイトのファイル名は 1 バイト文字に変換されるため、Prinergy Evo のプロセス ビューアでファイル名が正しく表示されません。

生成される PDF ファイルの名前も同様です。この問題は Windows でのみ発生し、Macintosh システムでの出力には影響しません。

Prinergy Evo の Adobe ソフトウェア コンポーネント

次の表は、Prinergy Evo コンポーネントと、対応する Adobe コンポーネントを示しています。

Prinergy Evo コンポーネント	Adobe コンポーネント
リファイン	Nserver 6.05 Flattener 3016.102-23 PDFL 6.0.0
出力	CPSI 3016.102-26 PDFL 6.0.0
CEPS 出力	CPSI 3015 PDFL 5.0.0